

# 北里研究所本館移り変わる102年

大正3年  
北里研究所創立(11月5日)

大正4年  
北里研究所本館竣工11月 開所式12月11日

※1



当時の表札



北里研究所竣工当時建物



当時の平面図



北里博士

大正3年、内務省から文部省への移管を機に北里柴三郎博士は、国立伝染病研究所を辞職し、私立の医学研究機関「北里研究所」を創立。研究所の建物は、翌年の大正4年11月に完成。同年12月11日、恩師ローベルト・コッホ博士の誕生日に開所式を挙げる。敷地面積2,500余坪、建物総面積772坪、L字型2階建を本館として、本館の後に血清・化学棟、培養・包装棟、2階建ての講義室、実習室、結核の化学療法剤等の施設が並ぶ。建物の外観は、ドイツ国立伝染病研究所(コッホ研究所)に似ており、正面にはオランダ切妻を配し、※1 玄関ポーチのひさしの部分には、太鼓の撥状の破傷風菌2個を交差させ、これを月桂樹で取り囲んだ北里研究所のマークが掲げられた。

北里柴三郎記念室 ニューズ  
ドネル第二十四号  
平成29年7月1日

発行・編集  
学校法人 北里研究所  
北里柴三郎記念室  
〒108-8641  
東京都港区白金5丁目9番1号  
TEL 03 (5791) 6103  
http://www.kitasato.ac.jp/kinen-shitsu/  
E-mail: k-museum@kitasato-u.ac.jp

昭和30年～  
北里研究所創立50周年(昭和39年11月5日)

北里研究所創立50周年記念事業で学校法人北里学園設立(昭和37年1月) 北里大学開設(昭和37年4月)  
北里大学衛生学部開設「化学科・衛生技術学科」(昭和37年4月) 北里大学薬学部「薬学科」開設 (昭和39年4月)



昭和33年頃



昭和40年11月撮影



昭和40年11月頃 白金キャンパス



昭和56年3月末日  
新北里本館竣工



昭和50年頃 北里研究所正面



昭和54年 北里研究所本館建物解体



大正4年に竣工した北里研究所本館の建物は、関東大震災(大正12年9月1日)の時、崩壊の被害なく、第二次世界大戦の時も(東京大空襲：昭和20年3月10日・5月23日・25日)幸いに3度の戦火も免れた。昭和55年、本館の改築を機に同年10月、愛知県犬山市の博物館明治村に「北里研究所本館・医学館」として移築保存された。

△当時の館内▽  
地下：図書館書庫、体育館を兼ねた大ホール。1階：学園事務室とカフェテリア。2階：大会議室、学園と研究所の事務室。3階：中会議室、研究所役員室。4階：学園役員室、北里柴三郎記念室

平成20年～  
北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年記念式典(平成25年11月5日)

平成20年4月1日、北里研究所と北里学園が統合。  
法人名称「学校法人北里研究所」改称 大学名「北里大学」踏襲



現在の白金キャンパス

大正4年、昭和56年と竣工した北里本館建物の跡地に



高層棟建物  
(撮：平成29年6月10日 病院側から)



解体前 (撮：平成27年3月正門側)



解体後 (撮：平成27年6月正門側)



低層棟建物 (撮：平成29年6月15日 薬学部3号館3階上から)



左側：低層棟 右側：高層棟  
(撮：平成29年5月 渋谷行バス停から)

北里柴三郎博士が築いた北里研究所、この白金の地で大正4年(竣工)にスタートしてから102年が経った。現在、北里本館・薬学部校舎建替え工事が行われ、現代的な建物「低層棟、高層棟」へと変貌を遂げ、この秋に竣工を迎える。低層棟、北里柴三郎記念館1階には、展示室がオープンします。明治・大正という時代にあって近代国家を目指す国策の中、医学・医療・衛生行政の中核で活躍した北里博士及び門下生等を顕彰すると共に、法人の最新情報を紹介。